

令和2年度予算

・令和2年1月19日

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度 予算
経常活動による収支	取	
	利用者負担金収入	7,554
	運営費収入	141,596
	私的契約利用料収入	0
	一時保育事業収入	200
	経常経費補助金収入	15,731
	寄附金収入	0
	雑収入	1,600
	借入金利息補助金収入	0
	受取利息配当金収入	30
	会計単位間繰入金収入	0
	経理区分間繰入金収入	0
	経常収入計 ①	166,711
	支	
	人件費支出	134,775
	役員報酬	300
	職員俸給	67,363
	非常勤職員給与	37,117
	退職共済掛金	1,574
	法定福利費	14,300
職員諸手当	14,121	
事務費支出	18,437	
福利厚生費	800	
旅費交通費	460	
研修費	350	
消耗品費	930	
器具什器費	270	
水道光熱費	545	
修繕費	300	
通信運搬費	440	
会議費	360	
業務委託費	12,380	
手数料	170	
損害保険料	502	
賃借料	630	
広報費	0	
雑費	300	
事業費支出	16,995	
給食費	8,400	
保健衛生費	700	
教養娯楽費	0	
保育材料費	1,000	
水道光熱費	4,280	
消耗品費	1,100	
器具什器費	130	
賃借料	1,085	
修繕費	0	
雑費	300	
借入金利息支出	243	
その他の支出	1,428	
経常支出計 ②	171,878	
経常活動資金収支差額 ③=①-②	-5,167	

勘定科目		令和2年度 予算	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	0	
	施設整備等補助金収入	0	
	設備整備等補助金収入	0	
	施設整備等寄附金収入	0	
	施設整備等寄附金収入	0	
	設備整備等寄附金収入	0	
	固定資産売却収入	0	
	器具及び備品売却収入	0	
	車両運搬具売却収入	0	
	施設整備等収入計 ④	0	
施設整備等支出	固定資産取得支出	300	
	建物取得支出	0	
	土地取得支出	0	
	車両運搬具取得支出	0	
	器具及び備品取得支出	300	
	構築物取得支出	0	
ソフトウェア取得支出	0		
元入金支出	0		
施設整備等支出計 ⑤	300		
施設整備等資金収支差額 ⑥=④-⑤	-300		
財務活動による収入	借入金収入	0	
	設備資金借入金収入	0	
	長期運営資金借入金収入	0	
	有価証券売却収入	0	
	積立預金取崩収入	0	
	退職給付引当資産取崩収入	150	
	財務収入計 ⑦	150	
	財務活動による支出	借入金元金償還金支出	0
		設備資金借入金償還金支出	0
		長期運営資金借入金償還金支出	0
積立預金積立支出		0	
退職給付引当資産支出		1,316	
その他の支出		0	
長期貸付金支出		0	
共済退職金預け金支出		0	
流動資産評価減等による資金減徴収不能額		0	
財務支出計 ⑧		1,316	
財務活動資金収支差額 ⑨=⑦-⑧	-1,166		
予備費 ⑩	0		
当期資金収支差額合計 ⑪=③+⑥+⑨-⑩	-6,633		
前期末支払資金残高 ⑫	29,081		
当期末支払資金残高 ⑬=⑪+⑫	22,448		

令和2年度事業計画(案)

令和2年1月19日

1、保育理念

保育園は、子どもたちが生活の大半を過ごす場所であり、子どもたちの大好きな大きな家庭であるといえる。子どもたちは、幼くてもそれぞれ異なった個性と人格を持っている。誕生し、周りの人々に尊重され、大きな愛情に包まれることによって、情緒が安定し、そして、その能力が引き出され、伸びてゆくことが出来る。私たちは、その成長した姿をイメージし、四つの基本、「徳育」「体育」「知育」「食育」をバランスよく考えながら日々の保育に専念する。

2、事業環境

令和の時代になり、保育業界は大きな変化があった。令和元年10月からは幼児教育の無償化が始まり、3～5才児の保育料は無償化され、幼児を持つ家庭にとって負担は軽減された。但し、実費徴収は、今迄主食費のみであったが、今後は副食費も含まれることになり、それに伴い事務は煩雑になっている。

保育士の人手不足は益々厳しくなっている。介護、医療の分野では少し前から言われていたが、保育の分野でもここ3年前からこの傾向は顕著になっている。新卒の募集は極めて難しく、また経験者の募集も紹介会社に依存せざるを得ない状況になっている。給与等の提示条件を上げることが必須になり、紹介会社に支払う紹介料も大きく、コストアップの大きな要因となっている。

川西市において今後、公立幼稚園及び公立保育園が統合して認定子ども園に衣替えするという計画がある。当園の近辺では、川西北幼稚園と川西北保育園との統合を図ることが決定されているが、令和3年3月に工事開始、令和4年4月に開園の予定である。因みに、定員は145人、内訳は、1号認定園児100人、2、3号認定園児45人である。また、川西市において2年4月開設の保育園は3園ある。

3、基本計画

元年度は、園児数の増加等により経常収入は増加する見込みである。但し、支出の方では、保育士の確保のために紹会会社に払う手数料が高額であり、収支を大きく圧迫している。

これに必要な投資も加わり、最終利益は赤字となる見込みである。

これを踏まえ、元年度から2年度にかけて、大きな変革をしようとしている。まず、自力で保育士の確保をする為には新卒の初任給のアップ、きめ細かな学校訪問の継続、実習生の受け入れの拡大等、出来るだけのことは実施する予定である。

また、コンサルタントのサポートも受け、働き方改革による保育士の定着を図っている。残業時間ゼロ、完全週休2日制、有給日の完全消化を実施をする為には、勤務シフトの見直しを行い、時間を意識した働き方を徹底していくことにしたい。具体的には、制作物、報告書の見直し、情報のデータベース化を実施する予定である。

これにより、保育士の負担を軽減、魅力ある職場にして、保育士の確保、定着につなげたい。そうすれば紹会会社に払う手数料を削減することが出来る。全体の収入に上限はあるが、納得する昇給の基準も確立したいので新しい評価基準も導入したい。

収支の改善には、その他の業務委託手数料の削減にも着手したい。一旦アウトソーシングしたのもでも、内製化することでコストの削減も図っていききたい。

2年度は業務改革の途上ではあるものの、各種努力と投資の一巡もあり赤字幅は縮小する。更なる合理化、コスト削減により、3年度には最終利益を黒字転換したい。

以上